

令和7年度

久留米高校

2学期後半の久留米高校LIFE

創立記念講演会・人権教育講演会

久留米高校では、11月は文化的な学びを深めるため講演会を企画しています。今年度は体育館改修工事のため、視聴覚室からZoomにて配信を行う形式で講演会を実施しました。講演会や生徒の感想を紹介します。

【令和7年度創立記念講演会】

令和7年11月6日(木)に、創立117年を記念し、令和7年度創立記念式を実施しました。記念講演では、アメリカで公認会計士として活躍されている大庭 正之 様をお招きし、「グローバルな活躍をするためには」の演題で講演会が実施されました。生徒たちにとって、本校の歴史を振り返り、世界の第一線で活躍している講師の先生から異なる価値観や文化の違い等について学ぶ貴重な機会となりました。

アメリカでの経験や文化の異なる場でどのように活躍していくかなど、経験したことがないことを学ぶ貴重な機会となりました。「自分に付加価値をつけ、主体的に新しいことにチャレンジする」という言葉が印象に残り、これから何をするべきかを考え直すことができました。将来をより広い視点で考えるきっかけを得ることができ、自分も積極的に学び続けたいと思いました。【2年 富安哲平(諒訪中学校)】



【人権教育講演会】

令和7年11月18日(火)に、めぐみ助産院院長 寺田 恵子 様をお招きし、人権教育講演会を実施しました。寺田先生は、助産師として全国各地で「いのちの授業」を行ってこられ、報道番組等で特集された方です。生徒たちがこれから的人生の中で、自他のいのちや人権を大切にし、行動できる力を育成する機会になったようです。

助産師の経験を基にした講演を通じて、生命の誕生から成長していく過程は、決して約束されたものではないことをはじめ、命の重みを改めて学ぶことができました。今、自分がこうして生きていること、周りにいる人々、環境に感謝する気持ちを忘れず、毎日を過ごしていきたいと思いました。



【2年 大月 優里奈(江南中学校出身)】

立命館アジア太平洋大学(APU)研修・先端企業研修

久留米高校では校外で学ぶ機会が多く設けられています。12月に行われた校外での研修の様子と参加した生徒の感想を紹介します。

【立命館アジア太平洋大学(APU)研修:12月3日(水) 1年生英語科】

留学生が多く、海外に行った気持ちになりました。英語で授業が行われ、色んな国の文化をキャンパス内で学べました。授業では、英語を使いつながら、インドと日本の違い・共通点を見つけ合い、まとめることができました。発表後、留学生の方からフィードバックがあり、とても参考になりました。クラスでもこのような活動をさかんに行い、高め合っていきたいと思います。【1年 田村心咲(杷木中学校出身)】

様々な国の人々と関わることができる施設があって、語学力やコミュニケーション力を高められる機会がたくさんあり魅力を感じました。自分に合った環境を見つけ、自分のやりたいことをして世界で活躍している卒業生の話が印象的でした。授業ではミャンマーの方と活動を行い、たくさんお話しでき、他の国の日本と違うところをたくさん学ぶことができました。【1年 下川桜波(ハ女西中学校出身)】

【先端企業研修:12月12日(金) 2年生理系2クラス】

九州工業大学、九州電力、九州製紙で学術研究の最先端について学ぶ機会となりました。

九州工業大学でカプセル型の内視鏡の開発・改良について学ぶことができました。開発のプロセスにおいて、多くの失敗と改良が続けられており、改良のためのアイディアを多方面から集めて、実践に結び付けている努力に感動しました。医学、物理、化学など多方面の先端技術がつながっていて、科学の面白さを体験することができました。2年 福田 凪(青陵中学校出身)

九州製紙北九州工場では、西日本地区で発生する古紙等を再生利用しトイレットペーパーを生産していました。トイレットペーパーの表現に柄をつけ柔らかくし、使う人に寄り添った工夫など印象的でした。古紙を再生する過程での様々な技術に工夫が凝らされていました。私たちの周りのものがトイレットペーパーに生まれ変わり、日常生活の中で循環していることを実感しました。【2年 関 侑里(荒木中学校出身)】

恒例となりましたJR久留米高校前駅周辺の地域清掃ボランティアの様子です。参加してくれた生徒の皆さんありがとうございます。

